

離島現場での社会貢献活動について

沖縄県土木施工管理技士

株式会社國場組

現場代理人

金城 兵七

Heishichi Kinjo

1. 工事内容

今回の工事は、農業用貯水池を整備する目的で農業用ダム【盛土39,400m³、鉄筋コンクリート1,081m³、基礎処理工828m等】を施工する工事である。

工事概要

- (1) 工事名：伊平屋北部1期地区貯水池工事
(3工区)
- (2) 発注者：沖縄県知事 仲井眞 弘多
- (3) 工事場所：伊平屋村伊平屋北部1期地区
- (4) 工期：平成23年3月17日～
平成24年3月30日

2. 現場における問題点

当該現場は、沖縄県の最北端で、東シナ海洋上に浮かぶ離島にあり、那覇市から北に117km、フェリー発着の沖縄本島今帰仁村運天港より41km(所要時間90分)の距離にある。(図-1参照)



図-1 伊平屋島位置図

人口は約1,300人であるため、土木専門作業員の確保が困難であった。そのため、重機オペレーターや、鉄筋工、大工等、ほとんどの作業員が、島外からの単身赴任で従事することになっていた。

地元島民からすれば工事関係者は、よそ者であるため、ほんの些細なことから誤解を招き工事進行の妨げになるトラブルが起こることは、絶対に避ける必要があった。

3. 当現場で実施した活動内容

そこで現場では、積極的に地域の行事や地元行政行事に参加し、コミュニケーションを図ることで、工事に対する理解と協力を得ることにした。

以下に実施した主な項目を述べる。

(1) 地区主催の草刈り作業への参加

現場事務所がある伊平屋村田名地区主催の草刈り作業に参加した。草刈りの日程等は、日頃、弁当や飲み物を購入している田名共同売店で情報を聞き出し、自主的に参加を申し出た。



図-2 清掃状況(6/19)



図-3 清掃状況(10/8)

(2) 飲酒運転根絶村民大会への参加

伊平屋村では、飲酒運転による交通事故が多発

しており平成18年に起こった悲惨な飲酒運転による交通死亡事故を、今一度真剣に考え、村民の交通安全意識の高揚を図る目的で行われた飲酒運転根絶村民大会へ参加した。そのあと、パレードに参加したときの、のぼり旗を譲り受け現場入口付近に設置して、作業員全員の交通安全意識の高揚に役立てた。



図-4 大会参加状況



図-5 パレード状況

(3) 豊年祈願祭への参加

平成23年9月9日に行われた田名区豊年祈願祭に、三味線弾き手として本社から1人、捧術に現場代理人が参加した。また、現場作業員も芸を観覧した。

特に捧術は、10年ぶりに復活する伝統行事ということで地元長老の指導を受け夕方5日間も練習を行った。



図-6 捧術【現場代理人】



図-7 集合写真

(4) ムーンライトマラソンのボランティア活動

平成23年10月15日に行われた、伊平屋村最大のスポーツイベントであるムーンライトマラソンで地元田名区の一員としてボランティア活動を行った。



図-8 ボランティア活動状況



図-9 集合写真

(5) ソフトボール大会への参加

平成23年11月27日に行われた伊平屋村体育協会主催のソフトボール大会に地元田名平松チームとして参加した。

参加する1週間前から、地元田名公民館前運動場で練習試合や夜間練習に参加し、親睦を図ることで地元馴染んでいくことができました。

大会は、残念ながら1回戦で敗退したが、その後地元田名区の子供会と親善試合を行い有意義な時間を過ごしました。



図-10 試合状況



図-11 集合写真

(6) イルミネーションの設置

クリスマスにあわせて田名共同売店に、イルミネーションを設置した。クリスマス後は、イルミネーション機材を地元子供会に寄贈した。



図-12 設置状況



図-13 点灯状況

4. 活動結果

以上述べた活動以外にも、伊平屋まつり・幼小中合同運動会・地域フォーラム等に積極的に参加した結果、地域住民とのコミュニケーションが円滑に図られ、工事に対する苦情や地域住民とのトラブルが皆無であった。

そのため、工事評価点での項目別評価点で、地域への貢献等は、満点を得ました。さらに、発注者である沖縄県農林水産部から、2011年度優良建設業者として表彰を受けました。

公共工事は、構造物の高い品質確保と安全施工が要求されるが、地元に対する社会貢献活動も重要であると改めて認識しました。